

① はまなか

議会だより

NO 129

令和元年7月15日発行



6月定例会

	国保税 税率改正の概要	2P
予審	空き家解体への補助は	3P~5P
算議	4人の議員が町政を問う	8P~11P
一般	学遜志 (木村 心音 さん)	12P
質問		

霧多布高校の2年生35人が6月18日から20日までの間、職場体験（インターンシップ）を行いました。新しい茶内保育所では、高校生と元気に遊ぶ園児の姿が見られました。真新しい園庭に子どもたちと高校生の笑顔があふれる3日間でした。

表紙の写真

着々と進む陸間改良工事

全5カ所で総額は3億7571万円

6月
定例会
5日・6日

国保会計

標準保険税率を基に算定

6月定例会が5日・6日の2日間の会期で開催。

一般会計・特別会計補正予算と条例改正など14議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算は4億4608万円を追加し、予算総額90億412万円となりました。

一般質問は、4人の議員が登壇しました。

国保税は、平成30年度の国民健康保険制度の改正により、その目的が従来の医療費などの費用に充てる財源から、北海道に納める「国民健康保険事業費納付金」に充てるための財源に変更となった。本年も北海道から示された「標準保険税率」を基に、前年所得と決算見込みを考慮した上で税率などの改正を行った。

今回の改正は、所得に乗ずる税率が医療費分で引き上げ、後期分・介護分は引き下げとなり、合計で0.14ポイント引き下げられた。

一人当たりの均等割額は後期分・介護分は前年同額で、医療費分が引き上げとなり、合計で1800円増

額となる。

一世帯当たりの平等割額は医療費分で引き上げとなり、後期分・介護分は引き下げとなったが、合計で300円増額となる。

なお、地方税法施行令の一部改正に伴い、課税限度額が医療費分で3万円引き上げられ、3区分の限度額合計は96万円となった。

さらに、一定所得以下の世帯に対する軽減制度は5割・2割軽減の範囲が拡大され、医療費分で1409万円、後期分で422万円、介護分で140万円の軽減となる。この軽減額は、国費などで補てんされることになる。

前年度との保険税額の比較

モデルケース (例)	平成30年度 国保税額	令和元年度 国保税額	比較
夫婦と子ども2人の4人世帯 所得 400万円	554,200円	569,200円	15,000円
夫婦2人世帯 所得 200万円	286,200円	293,800円	7,600円
70歳の単身世帯 所得 0円	19,400円	20,400円	1,000円
夫婦と子ども2人の4人世帯 所得 800万円	902,400円	940,500円	38,100円

※夫婦は40～64歳、子どもは40歳未満で算定

本町における国保の被保険者数および世帯数は年々減少傾向にあるが、国保税は納税者の納付努力により高い収納率を維持している。このことが国保会計の安定した運営につながっている。

なお、前年度と改正後のモデルケース別の税額の比較は左記のとおり。

補正予算審議から

空き家解体への補助は

問 空き家対策の一環として浜中町不良空家等除却補助8件分の400万円が計上された。事業内容および町内空き家の実態と申請件数、周知方法と予算を越えた場合の対応は。

また、限度額50万円であるが、増額する考えは。

答 街中に適正管理がされていない空き家が増えてきたことから、住民生活環境の保全と利活用の促進を目



解体が待たれる空き家

的に「浜中町空家等の適正管理に関する条例」を昨年6月に制定し、その後10月に「浜中町空家等対策計画」を策定した。これにより、国の事業補助制度の対象となり、事業費の半分200万円は補助金で賄われることになった。

このたびの補正予算は、倒壊・飛散の恐れがある不良物件（特定空き家）の解体を促すために解体費用の二分の一（上限50万円）を助成するもの。

町内の空き家戸数は116件で、内不良物件が8件である。現在まで調査依頼の申し込みが16件あり、6月中に補助対象物件となるかを判定し通知する予定。

周知方法は、町広報に掲載したほか、所有者へ直接通知している。予算の8件を超える場合は、極力早く解体を進めるために、財政状況を見ながら補正予算で対応したい。

また、上限額50万円は道内の市町村と比べ同程度であるが、今後の事業効果を検証しながら検討したい。

旧勤労青少年ホームの補修は

問 旧勤労青少年ホーム屋上防水補修172万円の内容と施設名称の変更は。

また、ルパンコレクションを展示しているが、原画などの貴重品を災害発生時に持ち出すことは可能か。

答 現在ホームは、高齢者事業団事務所とルパン三世コレクションの展示場として使用している。

今回の補修は、雨漏り対策として展示場であるアリーナの屋根をウレタン塗膜防水を実施するもの。面積は約200平方メートルである。施設名の変更は、現在のところ考えていない。

また、コレクションは全て複製でモンキー・パンチ先生の原画などはないが、災害時は、利用者の避難を最優先にしたい。

宝くじ記念事業の内容は

問 公益財団法人北海道市町村振興協会市町村交付金160万円は宝くじの益金を40周年記念事業として全道市町村に単年度交付するものであるが、その内容と管内市町村の交付額および本町に配分交付された予算の用途は。

答 このたび設立40周年を記念し単年度の特別支援事業を実施。

総額5億円を全道市町村に配分交付するもので、札幌市を除く178市町村に均等割り4割・人口割り6割で配分する。管内の配分額は、表1のとおり。

本町に配分交付された使途は災害対策用の防災備品の購入に充てる。内訳は、表2のとおりとなるが、不足分

表1 管内市町村の配分額

市町村名	配分額
浜中町	160万円
釧路市	1689万円
釧路町	281万円
厚岸町	193万円
標茶町	175万円
弟子屈町	175万円
白糠町	178万円
鶴居村	129万円

は既定予算で対応する。なお、現在ある簡易式トイレは49台で新規購入の42台と合わせ91台となるので、国が定めるガイドラインの基準に達することになる。

表2 防災備品購入内訳

防災備品	段ボールベット	トイレ用テント組立式便座	簡易トイレ袋
避難施設			
ゆうゆ	10台		2セット
農業者トレセン	10台	12台	2セット
茶内コミセン	10台	7台	2セット
Mottoかぜて	10台	3台	2セット
浜中農村環境改善センター	10台	7台	2セット
姉別農村環境改善センター	10台	6台	2セット
琵琶瀬展望台		5台	2セット
散布方面コンテナ		1台	6セット
丸山散布コンテナ		1台	2セット
購入金額計	59万円	67万円	42万円



組み立て式簡易トイレ

森林環境譲与税の内容と活用は

問 森林所有者意向調査委託料120万円の内容と基金積立金110万円の運用方法は。

答 本年度より段階的に森林環境譲与税が国から譲与される。それを原資に本年度と来年度で森林所有者意向調査を実施し、残りを基金に積み立てる。基金の運用は、森林整備に必要な間伐、人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及

啓発などに活用する。

森林所有者意向調査委託の内容は、4輪級以上の未整備民有林の625畝249人が対象で今年度は150畝を計画している。

意向調査の結果、自ら森林管理のできない場合は町へ管理委託でき、経営に適切な森林は林業事業体へ再委託し、経営に適さない森林は町で管理をする。

なお、採算が取れた場合は所有者に益金を支払う。

養殖事業補助の内容は

問 水産物付加価値向上事業補助21万円の内容は。

また、ウニ種苗センターの進捗状況は。

ウニ種苗センターの進捗状況は、道へ交付申請中で交付決定後、7月に測量と実施設計の入札を行う。水質調査は9～10月に行う予定。

答 補助事業の内容は、浜中漁協が事業主体となり、ウニ養殖事業の生産、流通の過程を映像化し、各方面

保育所安心メールの内容は

問 常設保育所経費約6万円で実施する安心メールの目的など詳細内容は。
また、へき地保育での利用は。

答 電話による連絡網では緊急時に伝えきれないなどの課題が指摘されていた。数年前から、小中学校ではメールを活用しており一斉送信など有効性・安全性が確認されていることから、常設・へき地保育所で導入することとした。

全員への一斉送信やクラス単位・職員間・保育所間での運用もできる。メールの既読が表示されない人には、電話をすることで連絡の徹底が図られる。

6月からの導入で年間のシステム利用料が約4万円と初期設定費用が約2万円となっている。

破砕機更新に係る環境影響調査とは

問 粗大ゴミの減量化を目的に更新される破砕機購入に係る環境影響調査委託料231万円の実施基準と調査内容は。

答 また、最終処分場の使用可能な年数と新たな処分場の建設計画は。

加えて、プラスチックによる海洋汚染が問題視される中、海外での輸入規制が始まっている。浜中町では資源物として回収・売却しているが、現状課題と今後の方針は。

答 1日5トン以上の処理能力がある破砕機を設置する場合は、都道府県知事に生活環境影響調査報告書を添えた届け出が義務付けられている。調査項目は、粉塵・騒音・振動・悪臭・水質などである。

また、最終処分場の使用は、残余容量のシュミレーションから令和10年度まで

は使用可能と考えている。令和5年度にはゴミ処理基本計画の改定を行い、新最終処分場建設に向け、場

所の選定を含めた取り組みを始めて行く。
なお、中国などのプラスチックの輸入規制から売却単価は下落しているが、ゴミの減量化を図る上からも資源物としての回収・売り払いを継続して行く。



現在使用中の破砕機

その他の主な歳出（一般会計）

歳出の内訳	金額
避難施設等建設工事（防災発電棟・車庫棟）	1億7683万円
新庁舎等建設工事（地中熱設備工事）	7616万円
町道維持補修工事（丸佐橋）	4820万円
プレミアム付商品券扶助（全額国の補助）	400万円
一般コミュニティ事業（宝くじ）助成金（熊牛連合会）	250万円

繰越明許費繰越 計算書の報告

○霧多布港海岸防潮堤嵩上
改良工事
3億8000万円

○霧多布港海岸防潮堤嵩上
改良工事等監理業務委託
料 3200万円

○霧多布港海岸陸開改良工
事実施設業務委託料
2400万円

○霧多布港海岸陸開改良工
事 2億6000万円

いずれも平成30年度内に
終了できなかったことから、
事業費を令和元年度に繰り
越したことが報告された。



嵩上工事が進む防潮堤

条例制定を議決

□浜中町森林環境譲与税基
金条例
今年度より新たに国から
譲与される森林環境譲与税
は、森林経営管理法に基づ
き浜中町が行う間伐などの
森林整備事業並びに人材育
成・担い手の確保、木材利
用促進や普及啓発など、計
画的かつ効果的に行う財源
とする基金条例を議決した。

○霧多布港海岸陸開改良工
事 2億6000万円

工事請負契約を可決

□公営住宅新築工事

(浜中団地R01)

(契約先) 丸重種市建設有
(契約金額) 1億3255万円

(工期) 令和2年1月10日

□防災貯留槽水道管

布設工事

(契約先) 太平洋設備(株)

(契約金額) 5302万円

(工期) 令和2年8月31日

財産の取得を可決

□粗大ごみ破砕機(自走式
二軸せん断機)1台購入
(取得先) コマツ道東(株)
鉦路支店

(取得金額) 6011万円
(納期) 令和2年3月13日

□学校用コンピュータ等

一式購入
(取得先) (株)ポータス

(取得金額) 2530万円
(納期) 令和2年1月31日

意見書(抜粋)

可決

◆新たな過疎対策法の制定
に関する意見書

過疎対策は、昭和45年に
制定した「過疎地域対策緊
急措置法」以来、総合的な
過疎対策事業が実施され、
過疎地域における生活環境
の整備や産業の振興など一
定の成果を上げたところ
ある。

特別会計 補正予算を議決

■介護保険特別会計

介護保険法などの改正に
よるシステム改修に伴う道
自治体情報システム協議会
負担金78万円を追加し、予
算総額4億6197万円と
した。

■下水道事業特別会計

霧多布クリーンセンター
ストックマネジメント事業
改築工事に係る国庫補助金
額の確定により1千万円を
追加し、予算総額3億8
23万円とした。

現行の「過疎地域自立促
進特別措置法」は令和3年
3月末をもって失効するこ
ととなるが、引き続き総合
的な過疎対策を充実強化さ
せることが必要である。
よって、新たな過疎対策法
の制定を強く要望する。
可決された意見書は、内
閣総理大臣をはじめ関係
係大臣へ提出しました。

第4回臨時会 (5月8日開催)

議員の紹介



田甫 哲朗 (65)
当選3回



加藤 弘二 (77)
当選6回



川村 義春 (68)
当選3回



中山 眞一 (74)
当選5回



波岡 玄智 (75)
当選8回



小松 克也 (68)
当選1回



秋森 新二 (71)
当選2回



前田 光治 (73)
当選2回



成田 良雄 (65)
当選5回



三上 浅雄 (64)
当選2回

議会構成新体制でスタート

議長 波岡 玄智
副議長 中山 眞一

総務経済常任委員会

委員長 川村 義春
副委員長 三上 浅雄
委員 中山 眞一
前田 光治
秋森 新二
小松 克也

社会文教常任委員会

委員長 加藤 弘二
副委員長 前田 光治
委員 中山 眞一
成田 良雄
田甫 哲朗

議会運営委員会

委員長 三上 浅雄
副委員長 秋森 新二
委員 加藤 弘二
川村 義春
小松 克也

広報公聴常任委員会

委員長 田甫 哲朗
副委員長 成田 良雄
委員 川村 義春
秋森 新二
三上 浅雄
小松 克也

議会として公聴活動を充実すべく、広報調査特別委員会から常任委員会に格上げしました。

全国的に地方議会議員のなり手不足が問われており、本町でも定数割れという結果を踏まえ、全議員で討議する全員協議会で、議会の様子を町民に知らせる仕組みづくりを検討しています。

その具体策は、本議会・委員会などを傍聴して意見・提言をいただく「モニター制度」の導入を考えています。

今後、先進自治体などを参考に協議検討を重ね今年度中の制度化を目指し、令和2年度からの導入を考えています。

釧路公立大学

事務組合議会

議員 田甫 哲朗

釧路東部消防組合議会

議員 川村 義春
田甫 哲朗
三上 浅雄
前田 光治

監査委員の任命

議選監査委員として議員から成田良雄氏を選任することに同意した。

議会を

傍聴して

みませんか!

次の定例会は

9月上旬の

予定です。

一般質問

川村 義春 議員



問 町長選3期目の出馬は

答 後援会の手続きを経て決断する

川村 松本町長は、平成23年10月から町政運営の重責を担い、政策実現に努力された姿勢に敬意を表する。本年10月の町長選3期目の出馬は、また、副町長が5月末で退任されているが選任の時期はいつか。

を支えてくれた後援会を大事にしたいので、近々開催される後援会全体会議の結果を踏まえ決断し、決意表明を行う。

なお、副町長の選任は決意表明の後に選任同意に向け、順序を踏んで議会の同意を得たい。

松本町長の出馬表明は6月5日の一般質問後の9日に行われた。

問 新たな総合計画の策定状況は

答 12月定例会で原案の議決を

川村 令和2年から10カ年の第6期の総合計画がスタートするが、現在の策定状況と議会説明は。

町長 策定状況は、まちづくり委員会からの提言を踏まえ基本構想骨子案と素案を各管理職で構成する策定委員会が協議中。その後に策定審議会に諮るが議会には11月中に内容説明し、12月定例会で議決を得たい。

川村 3月定例会で検討するとして『道の駅構想』およ

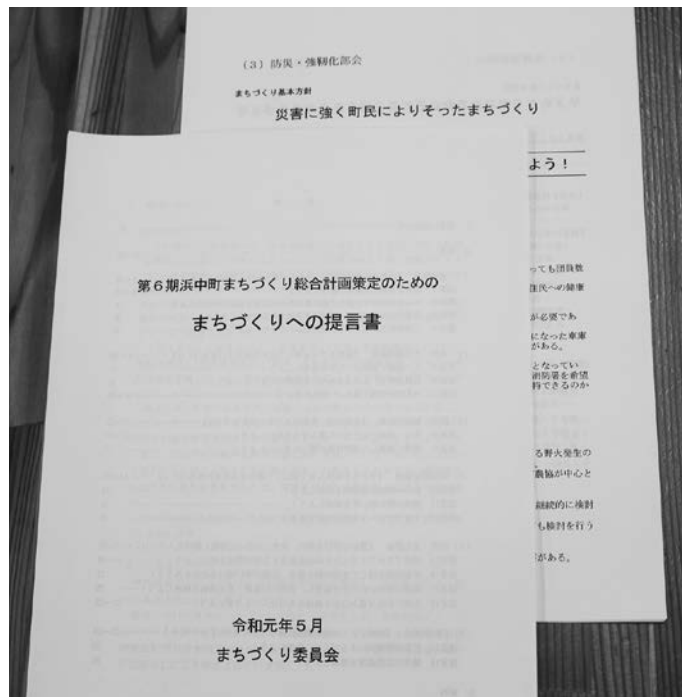
び新たな補助制度の活用が可能となる高速通信網『光回線の整備』と防災対策の『避難タワーの建設・避難艇の配備』に関し、第6期総合計画への反映は。

町長 『道の駅構想』は、特産品の開発・確保、運営など多くの課題があるので現状は凍結状態。実施計画に明記は難しい。

『光回線の整備』は、3月21日、総務省・総合通信局へ相談したが事業実施の可能性を検討中で、光回線

を整備した後の接続意向調査が必要であり、この調査の回収率は7割以上の回収率が求められている。補助事業の採択を受けて、事業展開できるよう取り組みたい。基本構想には、高速通信網の整備として掲載する。

『避難タワーの建設・避難艇の配備』に関しては重要課題であるので地域とも相談協議する。霧多布高校の屋上活用も可能と考えているので総合計画の実施計画に反映したい。



ホームページで見られる提言書

一般質問

田甫 哲朗 議員



問 新たな避難道の有効活用を

答 交通シミュレーションを実施して

田甫 津波に特化した防災計画の策定時期および地域住民との協議は。

町長 今年度「地域防災計画」を改訂し、令和2年度に各地域住民と津波避難に特化した協議を経て「津波防災計画」を策定する。

田甫 平成25年12月定例会で「霧高校舎は耐震強度を満たしているが波力に対する強度計算がないので屋上



避難道のイメージ写真

への避難は難しい」との答えであった。屋上避難を可能とする根拠は。

町長 強度計算は実施していないが、専門家の意見からも一般的に新耐震基準後の鉄筋コンクリート造りであり、防潮堤・海岸からの距離などを考慮すると耐え得る可能性が高いと思われる。

田甫 湯沸山への新たな避難道が来年度に完成する。「より高く・より速く」が津波避難の原則であり、橋の耐震強度が満たされている

ことから、交通シミュレーションを実施し霧中高を含めた新川東・暮帰別地区の避難先をより近くの高台である湯沸山への変更を検討すべきと考えるが。

町長 両地区の避難先を浜中方面に定めた当時から人口・車両台数の減さらに避難道の増設など状況が変わってきており、改めて交通シミュレーションを実施するなど検討協議していきたい。

田甫 寿磯橋・六番沢橋の耐震診断の実施は。

町長 六番沢橋は、長さとも橋脚の割合から耐震診断は不要である。寿磯橋は、長寿命化点検を実施しているが耐震診断は未実施である。現在、北海道はMGロード複線化に向け動いており、橋の耐震診断も要望していきたい。

田甫 丸山散布地区避難道整備の進捗状況は。

町長 地元との協議で湖沼公園高台ルートを検討中。保安林であり道の担当とも協議をしている。種々の課題を整理して、測量調査を実施することとなる。

問 地区別年代別の人口ピジョンは

答 町全体の人口ピジョンで

田甫 学校再編・町内会の維持・集会施設の改修などを考える上で、地区別年代別人口推計が必要では。

町長 地区別の人口推計を示すことは、住民感情を考えると町の振興上プラスではないと思われる。ただし、箱物事業を実施する場合には必要性を慎重に判断する。

一般質問

加藤 弘二 議員



問 大家族に支援を

答 福祉施策で支援している



店頭に並ぶ産産米

加藤 一次産業の町では三世代の賑わいの中で仕事を続けてきた。爺ちゃん、婆ちゃん、父さん、母さん、息子夫婦、父さんの妹、孫2人の家がある。この家庭では風呂や食事など負担は大変なものだ。「国や町から何らかの応援があつて欲しい」との声を聞く。

町長 本町は、福祉施策で支援をしている。

加藤 例えば大世帯に毎月10割の道産米一袋（税込み4千円）を届けるのを提案したい。国や町が温かい気持ちで応援する制度があつても良いのではないかと。大家族は、現在何世帯か。

町長 9人以上の家族が11世帯、8人家族が11世帯、7人家族が37世帯ある。

加藤 11世帯で年間52万円である。7人世帯、8人世帯

からの要望もあると思う。隔月の奇数月に配るとかが良い。

町長 受け取る全世帯が喜んでくれるかどうか。今はまだ考えていないが、提案するにしても議会の賛同が必要である。

問 町の臨時職員の雇用延伸を

答 現状を維持したい

加藤 60歳から町の施設で管理の仕事をしている人が現在64歳。来年は65歳になり応募の対象外になってしまう。今の調子で行けば70歳まで働けると言っている。70歳まで引き延ばしてもらえないものか。

町長 臨時職員は、定数外の取り扱い要綱で60歳までと規定されている。

加藤 この制度を継続すると、さらに雇用を困難にするのではないかと。スクールバスの運転手は浜中の2つの事業所に業務委託しているが、雇用者の年齢は。

教育長 スクールバスを委託している民間業者は、新採用の運転手を見込めず現在は69歳まで仕事をしてもらっている。

加藤 驚きである。民間は進んでいる。浜中町も労働者のニーズと民間企業の機敏さに習って70歳まで雇用する方向に進むべきだ。

町長 募集に際し年齢を60歳以上70歳までと表記するのは難しい。年齢要件を越える場合には、個別の検討も考えたい。

一般質問

成田 良雄 議員



問

一人暮らしや 高齢世帯への支援を

答

日常生活の 支援体制を強化

成田 超高齢化社会において、未婚率が増えていることや核家族化などの家族形態もあり、今後、ますます一人暮らしや高齢世帯の夫婦などが増加していく。本町も、その人々への支援が必要と思われる。支援は、多種多様な以下の2点について質問する。

①今、各地で訪問事業と合わせ、一週間に一度、電話で声をかけ安否確認や孤独感の解消を目的とした電話訪問事業を行っている。この取り組みをどのようにとらえているか。

②一人暮らしや高齢者世帯が生活行動の中で困っている。「家の中の修理、電球交換、部屋の模様替え」「掃除」「買い物」「散歩・外出」「食事の準備・調理・後始末」「通院」「ごみ出し」など多様である。本町として、一人暮らしや高齢世帯が生活上困っている現状をどのように把握しているか。

町長 ①町では、高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生活できるように町地域包括支援センターを中心に、自治会や関係機関を構成員として、毎年、高齢者見守りネットワーク会議を開催し、見守り支援合う体制を強化している。

支援センターの専門職員が、高齢者やその家族からの相談や問い合わせに応じることで、不安の解消につながるのと同時に、状況確認のための自宅訪問など、高

齢者世帯の生活サポートを行っている。今後もさらに相談支援体制を地域一体となつて強化して行く。

②生活支援などの対策は、在宅の高齢者へ生活支援ヘルパーを派遣し炊事、洗濯、ゴミ出し、話し相手など、日常生活上の援助を行つて

いる。

外出支援サービスは、移送車輛により、居宅から医療機関や商店などへ送迎サービスを実施。

今後も地域および関係機関と情報を共有し、必要な支援を提供していく。



見守りネットワーク会議（老人福祉センター）

学遜志

霧多布高等学校
3年B組

木村 心音^{ココネ}



私は、これまでの浜中学を通して、自分の意見や他の人の意見をどう活かしていくのかということを考えてきました。

この町に住んでいれば誰しも「あんなこといいな」できたらいいな」と考えたことがあると思います。私自身は、何かを根本から変えようなどと大それたことを考えたことはありませんが、もともと町が発展すればいいなど漠然と思うことはあります。しかし、そのために必要な意見も誰かに伝わらなければ実現することはあ

りません。

1年生の冬、私達の学年は、教育・産業・水産・観光・歴史などの9つの分野に分かれ、調査活動を始めました。自分たちが知った事をプレゼンして現状や改善案を他の班に発表しました。ここで気が付いたことが、人に何かを伝えることがどれほど難しいかということです。ただ、自分達の考えをスライドにまとめて発表しても、それが聞き手の印象に残らなければその意味はありません。賛同してもらったり、異なる意見を聞くことで自らの考えの改善を図ることができずが、相手に内容が伝わらなければそれらも得られなくなってしまうのです。

そのようなこともあり、2年生になってからは、他の学年や保護者の方に協力してもらいアンケートを取るなどの調査活動を行いました。図やグラフを効果的に活用するなど、どうすれば見やすくなるか工夫をして次のプレゼンに活かしてい

きました。

3年生になった今では、話し方を意識して原稿に頼らず直接相手を見ながら自分の意見を伝える練習をしています。

浜中学を学ぶ中で、私は考えたことを伝えられるよう工夫をし、より解りやすくすることを常に意識するようにになりました。自分の意見や他人の意見を活かすことができる発信力を今後の財産にし、町の人々で考える、より良い町にするための意見を支えていきたいと思えます。

- 揮毫 書道部2年B組 南 佑香^{ユカ}さん
- 読み方 がくそんし
- 意味 志を謙虚にするのが学問である。



町のトピックス



きりたつぷ湿原を埋め尽くす「わたすげ」

6月12日撮影

霧多布湿原の代名詞「花の湿原」の季節を感じる景色でした。